

(1) 社会福祉法人富谷市社会福祉協議会
令和5年度事業実績書

基本目標1:住民参加による福祉のまちづくり
基本計画(1):広報活動の啓発

中期実施計画		①広報の充実と情報発信の工夫	
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	社協だよりの発行	6回	見やすくわかりやすい広報誌を配布するために、レイアウトや文字の大きさなどにも継続して配慮を行った。また地域貢献活動を広めるため、引き続き地域密着型の情報発信に努める。
2	ホームページの充実	閲覧数:36,119回 (月平均3,009回) SNS投稿数:53件	ネットユーザーでも気軽に情報をキャッチしてもらえるように、情報発信ツールとしてSNSを行う。ホームページに関しては見やすくわかりやすい内容となるよう10月を目途にリニューアルを予定している。
3	パンフレット発行	1回 全戸配布+機関配備	市民の皆様が社協事業および会費協力への理解を深めていただけるよう、パンフレットを作成した。会費の用途・内訳がわかるように工夫した。

中期実施計画		②社協福祉出前座談会の実施	
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	社協福祉出前座談会	13回 福祉団体 7回 小学校5回 中学校 1回	小中学校からの福祉体験学習の依頼や災害・防災関係の依頼が半数を占めている状況である。今後は、周知方法の検討と共に、新たなテーマ(共同募金等)を構築するなど市民ニーズに合わせた事業を行えるよう努める。

中期実施計画		③地域福祉フォーラムの開催	
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	地域福祉フォーラム	9月23日実施 550人参加 (抄録配布数)	9月にイオンモール富谷にて開催。市民協働の取り組み展示・発表を通じて、若い世代の方にも、気軽に参加いただき、社協理解の推進につながった。6年度は、40周年式典と合わせての合同開催となるため、構成を含め検討を進める。

基本目標1:住民参加による福祉のまちづくり
基本計画(2):福祉教育活動の充実

中期実施計画	①家庭・地域・学校と連携した福祉教育の推進		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	福祉教育推進会議	1回	各学校の福祉委員会等の活動の情報交換を行うと共に社協福祉出前座談会の周知に努めた。今後は学校との情報交換から、新たな取組の検討や地域や校内での活動の幅を広げられるよう取り組む。
2	教育補助金	13校	学校の福祉教育を支援するための事業補助金を交付した。今後も引き続き実施し、学校との連携強化を図る。
3	福祉体験学習	7校 〔小学校6校 中学校1校〕	社協福祉出前座談会として、学校からの申し出により実施した。ハンディへの偏見を払拭できるよう体験型意見交換型とし、終了後の振り返りを実施し、地域生活で実践できるよう努めた。市民による福祉教育サポーターを導入し効果があったため、今後も住民と共に支援できるよう工夫が必要。
4	夏休み福祉体験教室	1回	身近な地域で活動している地域福祉団体の活動に参加することで、地域の一員であることを自覚すると共に、地域内の居場所を発見し、自分ができることを考えるきっかけとなった。今後も多様な福祉団体等と連携しながら開催し、参加者の行動変容を促していく。
5	子ども富谷福祉塾	2校	富谷市内小学校の福祉委員会に参画し、学校内での貢献活動並びに地域貢献活動を共に考えた。結果、エコキャップ収集や共同募金運動の理解につながった。今後は、子ども達一人一人が、学校・地域の課題に気づき、改善しようとする意識を持てるよう実施校の増加に努める。

基本目標1:住民参加による福祉のまちづくり
基本計画(3):交流の場・機会づくりの推進

中期実施計画	②世代や障がいを超えた交流事業の展開		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	センターカフェの実施	実施 (毎週木曜日週1回) 44回 ほっとカフェボランティア 10名	5月31日(水)オープンセレモニーを開催し、参加者に愛称を募集し、6月8(木)より「センターほっとカフェ」として事業を開始した。10名のボランティアの協力のもと、新たな交流の場として多くの方々に参加いただくことができた。参加者の楽しみとともに協力いただいているボランティアの方々の生きがい、居場所ともなっている。引き続き多くの方々参加できるようにPRに努めるとともに、ボランティアの皆さんが無理なく活動を継続していただけるように取り組んでいく。
2	障害者施設(夢の風)との交流	年2回	地域活動支援センターTOMOTOMOYOUYOU利用者との交流会を年2回開催し、レクリエーション交流会と今年度は革コースター創作交流を実施し、ストレンクスを活かした交流会を通じて障がい者理解にも努めた。次年度は他事業所との交流会を設け、より多くの交流会の提供に努めていく。
3	事業を支えるボランティアとの交流	実施	センターほっとカフェのボランティア、大学生と楽しくレク教室の学生ボランティアなどボランティアとの交流機会を多く提供することができた。次年度に向けては他事業についてもボランティアとともに事業運営できるように検討しながら事業運営に努めていく。

基本目標1:住民参加による福祉のまちづくり
基本計画(4):地域コミュニティづくりの展開

中期実施計画	①地域支え合い事業の展開		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	街かどカフェ	市内5か所	地域の方々が気軽に集まり「心地よい居場所」となるよう支援に努める。また、新規で立ち上げの相談も挙がっているため、市と連携し支援を行う。
2	ゆとりすとクラブ・サロン実人数 (参加者+サポーター)	873人	市職員・包括職員と共に全地区へ健康相談や体力測定の支援を実施した。コロナ5類に伴い再開した移動研修や活動内容についての相談を受けることが増えたため、引き続き市と連携しながら各地域のニーズに合わせた支援を継続する。
	ゆとりすとクラブ・サロン数	23か所	毎年1か所の増設を市は目標としているが、増加に至っていない。今後も、地域やボランティア情報の提供など社協支援の充実を図り、新規立ち上げ相談があった場合には丁寧且つ的確な対応に努める。
3	地域福祉活動(どんぐりの森活動)	24団体 ※補助金交付は20団体	地域福祉活動への主体的な参加を促進し、活動の安定的かつ継続的な振興を図るため、地域福祉活動を行う団体に対する補助金の交付を行った。今後も支援を継続すると共に、新規活動団体の増加に努める。
4	地域と施設の支え合い事業 とみサポころね(受託事業)	コーディネーター 12名 サポーター 17名 施設 6施設	本事業は令和5年度末でモデル事業としては終了した。コロナ禍での活動がほとんどとなったが、様々な寄り添いの形が生まれた。今後は社協が主体となって実施し、この事業の方向性を決定する必要がある。
5	地域サポーター養成研修(受託事業)	13人	ゆとりすとクラブ・サロンのサポーターを対象に、活動意欲の向上、持続的な活動へつなげることを目的として市外の活動団体を視察・交流会を実施した。今後も市と連携しながらサポーター活動の充実へつなげるよう努める。

基本目標1:住民参加による福祉のまちづくり
基本計画(4):地域コミュニティづくりの展開

中期実施計画	①企業等との地域福祉事業の協働・連携		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	企業会員(特別・賛助)会費納入	160社 (特別109社、賛助51社)	新規協力企業は14社となり、協力企業はあわせて目標数となった。今後も引き続き社協事業の普及啓発を図るとともに、会費協力への促進に努める。
2	地域貢献取組紹介	3回(6社)	企業が地域で取り組む地域貢献活動に関して、多くの市民に知っていただくために引き続き協力企業へ周知を行い、より多くの活動を掲載できるよう努める。
3	地域防災訓練	実施(4回)	企業などから提供を受けた資材を活用して、地域防災訓練時に配布し、ローリングストックの普及啓発に努めた。今後も地域の企業と連携しながら、防災活動と共に、災害時の社協の体制整備での連携を図る。
4	地域活動支援センター受注作業	12社	定期的に受注している軽作業の他、企業からのノベルティグッズの製作等幅広く受注している。又、今年度は総会資料やイベント案内等の印刷、製本作業を3つの町内会より受注し、取り組むことで能力向上に繋がる一年となった。 今後もメンバーの能力拡大が図れるよう定期的に依頼のある発注者の開拓を進めるとともに、作業内容についても確認・調整しながら受注していく。

基本目標2:共に支え合う福祉のまちづくり
基本計画(1):ボランティアセンターの運営

中期実施計画		①ボランティアセンターの再構築	
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	ボランティア活動者(団体・個人)	966名(62団体)	R4年度末で登録者を精査し、地域福祉活動団体(どんぐりの森活動)の活動者を登録実数に加えた。活動について「関心はあるが、活動に一步踏み出せない」との声が多く、今後どのように取り込んでいくのが課題である。また、生活課題等に対応できるボランティアの獲得が必要である。
	●ボランティアセンター登録者	786名(53団体) ※下記団体15団体含む	
	●地域福祉活動団体(どんぐりの森活動)	180名(24団体)	
2	災害ボランティア登録	60名	目標値を達成した。R6年度は目標値を再設定し、引き続き、積極的に登録を促し、加えて活動内容の実践的研修が必要である。
3	おたがいさまネットワークづくり サブセンターの設置	機能検討	サブセンター設置には至っていないが、地域のネットワーク強化を図るため、包括との小規模ミーティングを実施。今後は、市の方針に沿い各包括センターに単独で設置される生活支援コーディネーターとの連携の在り方の検討が必要である。

中期実施計画		②地域福祉活動の理解と人材育成	
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	ボランティア養成講座	2回 (5月・7月実施)	R5年度はボランティア入門編として基礎編を実施し、実践編の講座として、はじめて福祉教育サポーター養成講座を実施した。今後も実活動につながる講座の組み立てが必要である。
2	スキルアップ研修会	1分野 (9月実施)	4分野実施には至らなかった。各種事業担当との連携も不十分であったため、強化が必要である。
3	ボランティア情報交換会 (ボラセンお茶っこ会)	1回 (3月実施)	ボランティアの原動力をテーマに活動10周年を迎える団体に発表いただき、活動について参加者と共に意見交換を行った。会場を初の「とみやど」開催とし、雰囲気新たに良い会となった。今後も、相互が交流しやすい会の実施を目指す。
4	ちょボラ発信	12回	エコキャップ収集以外の、ボランティアの提案・発信という観点からは実施に至っていない。先ずは、新規活動を提案、発信するためリーダー把握

			は、利権の取得を目的とするため、 と、情報収集を行う必要がある。
--	--	--	-------------------------------------

基本目標2:共に支え合う福祉のまちづくり
基本計画(1):ボランティアセンターの運営

中期実施計画	③多様なボランティア活動の推進普及啓発		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	社協だより(ボラセンだより)	6回	ボラセンだよりの中で、活動紹介やボランティア募集等を発信した。活動に興味関心を持っていただけるよう魅力ある内容とすることが必要。
2	ホームページ更新	閲覧数:3,009回/月 26回	取材の様子や活動紹介など、Facebookやホームページで発信をおこなった。今後も継続が必要。
3	ボランティアセンターフェスティバル	未実施	コロナ禍から現状に至るまで開催できていない。社会状況や地域ニーズに柔軟に対応しながら、開催方法を検討する必要がある。

中期実施計画	④ボランティア・市民活動の活性化		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	ボランティア相談件数	39件	施設、学校からの相談が定期的にあった。新規ボランティアの活動についての相談もあり、実際の活動につなげた。どこに相談したら良いかわからないという声が多いため、市民が相談しやすい窓口のあり方の検討が必要である。
2	ボランティア活動件数	3,815件(名)	コロナ対策が緩和されたことに伴い、施設からの依頼が増加した。また、各種事業に伴うボランティア活動も継続的に行われた。しかし、生活課題などの個別の活動につながっていないため、今後に向けて取り組みが必要である。
3	ボランティアセンター運営委員会	2回	ボランティアセンターの運営を円滑に行い、かつ効果的にするために開催。ボランティア活動振興のための事業内容、方針に関することについて協議を深めることが必要である。

基本目標2:共に支え合う福祉のまちづくり
基本計画(2):災害ボランティア体制整備

中期実施計画	①地域における自主防災意識の向上		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	地域防災訓練支援	4回	町内会や学校で開催の防災訓練に出向き、必要な支援を実施。今後は、福祉活動推進委員長研修会のテーマが災害分野であるため、地域での災害時の取り組みを共有しながら、必要な支援について検討を重ねる。

中期実施計画	②災害ボランティア体制・ネットワークの構築		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	災害ボランティア養成講座	未実施	開催には至らなかった。今後は、災害発生時ボランティアの協力体制の構築を目的に、登録者に対して養成講座を開催し、災害に特化したボランティアの育成と協力者の確保に努める。
2	災害ボランティアセンターマニュアル	令和6年度上半期策定予定	災害ボランティアセンター運営マニュアルの検討段階である。今後、6年度上半期を目途にマニュアルを整備し、市との役割を確認後、町内会・企業・関係団体との連携による体制を整備する。
3	県内災害協定に基づく支援	仙台都市圏域災ボラ相互支援協定会議 4回 研修会 1回	平常時から顔の見える関係性づくりを意識し会議研修会に参加。また、県内・外で災害があった際に、協力派遣を行う。
4	富谷市社協災害ボランティアセンター協定	未実施	災害対策基本法に基づく、富谷市との災害ボラセン設置にかかる協定を締結。今後は、マニュアルも含めて、運用(役割分担等)について協議を進める。

基本目標2:共に支え合う福祉のまちづくり
基本計画(3):福祉関係機関との連携及び活動支援

中期実施計画		①福祉関係団体の事務局支援	
NO	指標項目	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	遺族会支援	三役会1回 役員会2回 総会1回 富谷市戦没者慰霊祭開催	役員会、総会等の開催支援、会費納入事務、秋季大祭参加など、共に協議しながら会議・行事・補助金執行等を円滑に支援できた。今後とも事務局として、会役員と協議しながら事業実施を支援する。
2	身体障害者福祉協会支援	行事支援7回 打合せ等随時	各種行事について、会役員と協議しながら円滑に実施できるように努めた。今後は、会員の高齢化や減少等による会運営の方向性検討や行事企画での創意工夫が必要と考えられるため、事務局として、会役員と協議しながら事業実施を支援する。
3	手をつなぐ育成会支援	行事支援7回 打合せ等随時	各種行事について、会役員と協議しながら円滑に実施できるよう後方支援に努めた。若い世代の新規入会や、行事の充実・見直し等にも積極的であるため、事務局として、会役員および会の意向に沿った行事等の事業実施を支援していく。

中期実施計画		②共同募金事業の実施	
NO	指標項目	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	赤い羽根募金運動	48行政区 市内学校等 街頭募金	10月1日～11月末までを募金運動期間とし、全町内会、市内の幼稚園・保育所・学校等よりご協力をいただけるよう募金運動を展開した。今後も、引き続き周知啓発に努め、助け合いのある地域をめざす。
2	歳末たすけあい募金運動	48行政区 民協定例会	10月1日～11月末までを募金運動期間とし、全町内会より協力をいただき、募金額も昨年を上回り、福祉活動団体や個人に贈呈した。今後も引き続き周知啓発に努め、助け合いのある地域をめざす。
3	歳末たすけあい配分委員会	4回	周知・配分については民生委員の方の協力のもと実施できた。今後も民生委員の負担にも配慮しながら継続が必要である。配分対象者については、配分委員会で十分な協議継続が必要である。

基本目標3:安心して暮らせる福祉のまちづくり
基本計画(1):権利擁護センターの機能強化

中期実施計画	①総合相談支援の強化		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	生活相談	24回	市と連携し生活相談会を開催した。対面相談だけではなく、電話相談も取り入れて実施。次年度も必要に応じ他機関と情報共有を図り、問題の早期解決に努める。
2	日常生活自立支援事業 (まもりーぶ)	62件 (実人数3名)	手続きは、滞りなく県社協と連携しながら行えた。1名の支援員が退任され、新しく1名の支援員が雇用されている。今後も県社協と協力しながら、事業実施に努めていく。
3	権利擁護センター	34件	複合課題を抱えるケースの相談が増加している。中核機関含む他の専門機関との連携強化が必要である。
4	成年後見サポート推進協議会	未実施	県社協からの日常生活自立支援事業の業務移行や方向性が主となり、協議会の開催には至らなかった。今後は、中核機関やケース検討を含め委員からの助言をいただく等協議会の機能検討が必要である。

中期実施計画	②生活困窮者支援施策の実施		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	生活福祉資金貸付	貸付総数21世帯 (新規5件)	全社協の資金貸付方針に沿い、対象世帯に資金の貸付を行った。今後も、県社協と連携のもと、適切な相談支援を行う。
2	生活安定資金貸付	滞納世帯3世帯	県が制定した要綱に基づき、見直し作業を行った。保証人等、申請に必要な項目を整理した。
3	フードバンク支援	0世帯	生活実態把握が難しく、支援策を講じることが難しいケースが多く、多職種連携による支援が必要。
4	緊急小口資金特例貸付	償還(県社協)	新型コロナの影響にて、生活費を必要とする世帯への貸付を実施。(令和4年9月末申請終了)償還については滞納する世帯が多く、関係機関と連携を密にして進捗管理を行う。
5	緊急学業支援金貸付償還	償還5世帯	借受人全世帯が償還に入っており、遅れることなく計画通りの償還業務が行われており、今後も推移を見守っていく。
6	生活福祉資金等運営委員会	1回	生活福祉資金に係る案件について審議した他、生活安定資金の弾力運用についても協議を行い、必要事項について話し合いを行った。

基本目標3:安心して暮らせる福祉のまちづくり
基本計画(2):福祉ニーズの発見と福祉サービスの充実

中期実施計画	①高齢者支援事業の実施		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	福祉健康センター (健康推進事業)	1,734人 (健康推進事業:1,425人) (サロンより愛:309人)	各種教室は中止することなく実施することができ、リピーターが多くはなっているが目標を達成することができた。次年度も各種事業、各種行事や自由来館の新たな参加者・利用者を増やしていけるように周知啓発を工夫しながら取り組んでいく。
2	給食サービス事業(受託事業)	利用者実数 169人 配食延べ数 18,870食 運転ボラ 43人 配達延べ数 2,230回	利用者が増加傾向にあるため、状況に応じてコース編成を実施した。利用者の状態変化が著しい方も増加傾向にあるため市や関係機関との連携強化に努める。運転ボランティアについては高齢化が課題となっているため、今後も安定した配達ができるよう運転技術の確認と人材確保が必要である。
3	虹いろ会食サロン事業(受託事業)	実施回数4公民館10回 (計40回) 申請者数 98人 実人数 88人 参加者延べ数 567人	参加時や会食時の交流等は以前よりも規制を緩和し、歓談を行いながら実施している。参加者の増減の地域差があり、全体的な増加にはいたっていない。今後も参加者、協力者、皆にとって月に一度の楽しみの集いの場となるよう、内容の向上に努めていく。
4	介護予防事業「サロンより愛」 (受託事業)	実施回数 (水)48回(木)48回 登録利用者数 33人 ボランティア 28人	ボランティアの活用を目標とし、地域のボランティアや講師を登用した様々な企画運営を行った。今後も利用者だけではなく、ボランティアにも積極的に活動に参加してもらい、サロンに関わる方々の生きがいとなる集いの場を目指す。また、福祉健康センターと介護予防プログラムの共用を図り、センター利用者や地域との交流を広げていく。3コース開設に向け、地域包括支援センターとの連携を図り利用者の増加を図る。
5	生活支援型訪問サービス「まごの手」	利用者数 48人 支援回数 1,620回 支援員 37人 スキルアップ研修 2回 生活支援員養成講座 2回 生活支援員情報交換会 1回	新規利用の依頼はあるが、同様に利用終了となる方もいるため、全体的な増加には至っていない。利用希望者へのスムーズな調整と市から求められている定期的な支援員のローテーションを実施できるよう、支援員の確保に努めていく。また、支援員が不安なく活動を継続できるように、スキルアップの実施と支援員同士の集う機会を増やし、活動に対するモチベーションの維持、向上に努めていく。

基本目標3:安心して暮らせる福祉のまちづくり
基本計画(2):福祉ニーズの発見と福祉サービスの充実

中期実施計画	②障がい者支援事業の実施		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	なないろ stand fair (障がい(事業所)理解深化事業)	4回	継続的に実施し、市民からの認知度や興味関心を得られた。今後は継続するだけでなく、障がい事業所とともに社協のPR方法を工夫し、周知を図る。
2	障害者計画相談 計画作成	20件	継続ケースにおいて、障害者(児)および家族等からの相談に応じ、利用者の意向に沿い、概ね計画通りのサービスを提供できた。これからも、利用者に寄り添い、利用者が望む生活を実現できるよう、関係機関とも連携・共有を図りながら、より良い支援提供に努める。また、相談支援従事者研修の適切な受講を行う。
3	障害者計画相談 モニタリング	54件	
4	地域活動支援センター 基礎的事業登録者	15名	本人の将来への希望、生活課題等確認しながら個別支援計画の作成と定期的にモニタリングを実施し支援を行った。その結果、職場復帰した方が1名、就労継続支援B型事業所(菓子と手芸関係)へ移行した方が3名いる。 新規利用者は1名であった。将来の活動目標を明確にして活動に取り組んでおり、段階的に通所日数が増えてきている。 今後も市の登録決定内容やサービス等利用計画に基づき個別支援計画を作成し、日常、社会生活の自立に向けた継続的な支援が必要である。 又、就労系施設やグループホーム等の福祉サービスについて理解を深める機会を持ち、将来の生活と活動基盤の検討に繋げていくことが必要である。
5	地域活動支援センター 余暇支援事業登録者	30名	参加者から内容の希望を聞き取り、レクリエーションを企画して実施した。調理や創作、運動、外出等幅広く企画することで、参加者同士交流を深め余暇の充実に繋がられている。課題として参加者が固定化されているため、アンケート結果をもとに内容の充実を図れるよう企画していき、楽しむ喜びを得られるサロンを目指していく。

基本目標3:安心して暮らせる福祉のまちづくり
基本計画(2):福祉ニーズの発見と福祉サービスの充実

中期実施計画	③子育てサポートセンターの実施		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	子育て支援相談	随時	利用者の相談には、関係機関(子育て支援課・とみここ)との密な情報共有・連携を図り、随時対応できた。また、子育てサポーター等の協力のもと、望ましい支援提供の調整等に努めることができた。今後も継続していく。
2	育児ヘルプサービス事業 (受託事業)	支援件数 176件	相談から育児ヘルプ、ファミサポへの連続支援について、問合せや実利用は増加傾向にあり、関係機関と丁寧な情報共有・協議を行いながら、望ましい支援提供の調整に努めることができた。今後も、利用者への安心・円滑なサービス提供に努めていく。活動者については、一部、高齢化による支援内容の制限等、コーディネートが困難な側面もでてきているため、定期的な養成講座開催による新規活動者の確保を継続していく。また、現活動者支援に向けた活動者同士の情報交換・交流会企画等も検討する。
3	子育てファミリー・サポート・センター事業 (受託事業)	支援件数294件 (キャンセル78件)	
4	子育てサロン「とことこ」	開催24回 参加者数469名 イオン開催3回 親子58組	感染対策のため、定員10組予約制を継続。参加児の低年齢化(0~1歳児が多数)傾向は顕著で、都度、サポーターが内容等を協議し好評に実施できた。令和6年度からは、コロナ禍以前の予約不要・市外在住者参加可の開かれたサロン再開となるため、動向や参加者の声を確認しながら、適切な運営・周知等について、サポーターと随時協議していく。また、実活動(可能)サポーター数増に向けた新規サポーター養成等も具体化していく。

基本目標3:安心して暮らせる福祉のまちづくり
 基本計画(2):福祉ニーズの発見と福祉サービスの充実

中期実施計画	④デマンド型交通運行事業の実施		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	デマンド型交通運行事業 (受託事業)	利用者数 1,732名	運転手・オペレーターおよび市と情報共有・連携を図りながら、円滑・安全な運行に努め、実施できた。また、市民からの声を反映し、サービス内容の向上を実現した。これからも、利用者のニーズに耳を傾けるとともに、地域・行政と定期的な振り返りの会を設ける等、事業の充実を目指す。必要時の新規運転手確保・養成や、実態に合わせた登録者名簿の整理、登録・利用実績を伸ばすための周知強化に向けても、市と協議していく。
2	安全運転講習会	年1回	円滑・安全な運行実施を目的に年1回の開催を継続した。令和6年度も継続開催する。
3	富谷市立富谷中学校西成田教室 スクールバス運行事業 (受託事業)	運行回数 1,204回	市内全域からの生徒の安全な通学手段の確保として、デマンド型交通運行事業を活用し、送迎業務を実施できた。編入生徒の新規利用要請等にも、運転手協力の下、速やかに運行ルートに反映できた。今後も、安全運行に努める。

基本計画(1):社協運営基盤の整備

中期実施計画		①コミュニティソーシャルワーク(CSW)機能の充実	
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	実習生受入 (社会福祉援助技術現場実習)	4名 (3大学)	市内の実習生3名(東北福祉・東北文化学園・仙台白百合)を受入れた。学生の実習目標に合わせたプログラム編成から、職員を交えての実習報告により、実習生の自主性が発揮された。今後は、新カリキュラムに対応した実習内容を提供できるように努める。
2	職員研修(外部)	22回	対面での研修会が本格的に再開し極力参加できる方向で調整を行った。今後も職員の専門性を得るべく資質向上の機会を図っていく。

中期実施計画		②社会福祉協議会住民会員制度への理解協力	
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	会費協力率	一般会費協力率 65% (個別納入含む)	町内会加入者数の減少という問題のある中、町内会の協力により、協力率への目標値には近づいているが、町内会に加入していない市民からの協力について検討が必要である。
2	福祉活動推進委員長会議	1回	町内会の実情に応じた会費納入方式へ変更し、町内会からも一定の理解を得た。今後も町内会(役員等)の負担軽減に努めるとともに、社協事業の理解のため、会議や研修等も含めて連携を密にしていく。
3	福祉活動推進委員長研修	2回	「災害」をテーマとして、社協と協働できる点やグループワークを通じて、町内会の実情を知ることができた。今後も情報交換から実際の課題解決につながるができるよう一層の連携強化に努める。

中期実施計画		③財源確保等の検討	
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	会員会費協力	11,471,450円	町内会や企業の協力は多くいただくものの目標値に届かない現状である。今後の社協運営にも関わるため、自主財源の確保は長期的な課題となる。
2	企業広告掲載	実件数0社	希望する企業がいなかったため、企業広告の掲載は0件となった。広告掲載を含め、協力企業の取組をPRできるよう、検討が必要である。

基本目標4:安定した地域福祉のまちづくり
基本計画(2):計画推進体制の整備

中期実施計画	①地域福祉活動推進計画の進捗管理		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	理事会	7回	事業構築に至るまでの相談から意志決定まで重要案件の審議が滞りなく遂行してきた。今後も役職員一丸となって課題解決に取り組む。
2	評議員会	3回	事業実績及び決算報告を実施。議決機関及び地域の代表者の方々に構成されていることから、多様な意見をいただき、社協事業の推進に努めることができた。
3	地域福祉活動計画 運営協議会	5回	グループワークやアンケート調査にて、令和6年3月に後期実施計画の答申に至った。今後は、引き続き計画に関する進捗管理を行う予定。

中期実施計画	②事業推進体制の強化		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	理事会	7回	役員の事業参画や意見を頂き協働することができた。
2	評議員会	3回	地域福祉関係者より幅広い意見を頂くことに努めた。
3	監査会	2回	外部監査は毎月実施しより適正な運営に努めた。
4	生活福祉資金等運営委員会	1回	今後の資金貸付の方向性について協議を進めた。
5	ボランティアセンター運営委員会	2回	ボラセン運営の方向性について委員会で協議した。
6	苦情解決第三者委員会	未実施	案件がないため未実施。今後案件があり次第。
7	福祉事業委員会	4回	地域福祉フォーラムの内容検討を協議。
8	総務運営委員会	3回	今後の役職員体制のあり方について協議。
9	事業推進体制整備	実施	係体制での事業執行で、業務効率化を図る。

基本目標4:安定した地域福祉のまちづくり
 基本計画(2):計画推進体制の整備

中期実施計画	③事業継続計画(BCP)の実施		
NO	主な事業	令和5年度実績	課題・評価・今後に向けて
1	組織体制	令和6年度上半期 策定予定	他社協の情報収集の段階であり、今後運営協議会及び委員会にて、内容を協議し、6年度上半期中の策定に向け準備を進める。
2	職務体制	令和6年度上半期 策定予定	
3	優先順位	令和6年度上半期 策定予定	
4	災害時対応	令和6年度上半期 策定予定	

令和5年度 富谷市福祉健康センター事業実績報告(最終)

1 開所日数(単位:日)

開所日
243

2 曜日別利用者数(単位:人) ※延人数

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合計
1102	1522	2006	3499	1517	0	38	9684

社協来所者数

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合計
391	304	511	232	371	0	0	1809

3 男女別・年齢別利用者数(単位:人) ※3月31日現在

	60歳未満	60~64	65~69	70~74	75~79	80歳以上	未登録者	合計
男性	0	1	3	3	1	4	11	23
女性	0	0	3	3	9	6	23	44

4 入浴利用者数(単位:人) ※延人数

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合計
男性	219	156	181	174	182	0	0	912
女性	386	374	411	355	350	0	0	1876

5 各種相談件数

	電話	来所	合計
男性	4	15	19
女性	12	43	55

6 相談内容

内容	件数	内容	件数	内容	件数	内容	
健康に関すること	病気	0	福祉健康センターのサービスに関すること	事業について	6	保健福祉事業について	0
	身体の状況について	19		施設整備等について	16	その他	5
	ところに関すること	2					
	運動等について	5					
	その他	21					

	月	火	水	木	金	
女風呂	37	31	38	35	53	194
女合計	45	36	39	44	74	238
男風呂	17	18	23	16	36	110
男合計	27	27	26	16	47	143
総利用者数	72	63	65	60	121	381
中部長生会	10					
陶芸					24	
川柳	10					
快適					14	
足腰			49			
脳力						
シニア						
楽々				20		
秋の遠足						
泥				11		
七宝				25		
染織		5				
将棋の会	17				23	
大正琴	8					
つどい			67	81		
虹サロ						
フレッシュアップ					24	
			181	197	206	584

7 行事実施状況

種別	内容	回数	人数	実人数	備考
高齢者生きがいづくり事業	あけぼの川柳教室	12	166	15	
	陶芸体験教室	10	62	8	
健康増進事業	快適ライフ教室	7	63	49	
	転ばぬ先の足腰教室	28	287	23	
	脳力アップ教室	5	36	10	
	シニアメンズ料理教室	3	30	19	
	楽々クッキング	4	56	36	
	大学生と楽しくレク教室 (旧:東北文化学園大学介護予防教室)	5	48	23	
	健康運動クラブ	96	812	67	
	音楽健康教室(旧:歌声健康喫茶)	5	86	56	
	カラダげんきに栄養講座	1	7	7	
季節行事・世代間交流事業	各種行事・世代間交流事業	1	37	37	秋の遠足。
普及啓発活動	代官松まつり	1	38	38	運動器具体験コーナー。
生涯・創作活動	泥ん好会	19	77		
	七宝の会	18	28		
	染織の会	23	125		
	陶芸の会	21	237		
趣味活動	将棋	0	0		
	大正琴	13	47		
その他	サロン より愛	93	1428		毎週水・木開催。
	虹いろ会食サロン(調理ボラ)	10	48		

8 独自事業

教室名等	内容	回数
センターほっとカフェ	5月31日、オープンセレモニー開催。 6月より毎週木曜日11:00～13:00で開催。 延べ利用者数1602名。延べボランティア数224名。	44
センターだより発行	センターだより発行し、関係機関に設置、周知依頼し、PR活動。	3
社協福祉出前座談会	6月27日、虹いろ会食サロンセンター事業説明、軽運動体験。 1月18日、ひより台ゆとりすとセンター事業説明、体験。 1月17日、2月21日、3月13日、中部長生会センター事業体験。	5
第6回地域福祉フォーラム	9月21日～9月26日までイオン富谷店で社協の取り組み紹介にて、福祉健康センターの活動紹介をパネル展示し、PR活動。	1
富谷小学校児童クラブレクリエーション交流会	8月8日富谷小学校児童クラブの子どもたちと富谷中央公民館大ホールにてポッチャ等レクリエーションを通じた交流会。	1
障がい者事業所と交流事業	2月21日、3月19日地域活動支援センターTOMOTOMOYOUYOU交流会	2

9 摘要

新型コロナウイルスも5類に移行されたが、アルコール消毒や換気など対策を講じ、施設利用休止や教室開催を中止することなく実施することができた。
今年度は5月31日センターほっとカフェのオープンセレモニーを開催し、6月からは毎週木曜日に定期開催し、新たな楽しみ、交流の場となり多くの方に参加いただいている。カフェ運営はボランティア主体で実施し、ボランティア活動の場の提供、ボランティア参加者の生きがい・社会参加の機会ともなっている。
昨年度より実施している地域活動支援センターTOMOTOMOYOUYOU利用者との交流会も年2回開催し、今年度は革コースター創作交流を実施し、ストレンスを活かした交流会を通じて障がい者理解にも努めた。
世代間交流事業では富谷小学校児童クラブとのレクリエーション交流会を夏に再開することができた。
なお、令和6年度は新たな事業として月1回の世代間交流事業開催を予定しているため、子どもたちとの交流する機会を多く提供していく。また、引き続き利用者ニーズの把握に努めながら、事業、施設運営に努めていく。

富谷市地域活動支援センター 令和5年度事業実施報告

(1)本業務の実施状況に関する事項

総評	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと見直されたことに伴い、継続して感染症対策を行いながら中止にしていた事業を段階的に再開していった。メンバーが楽しみにしていた販売活動等は市内外のイベントが多く再開したことで、参加する機会も増え、意欲的に販売活動する姿が見られている。</p> <p>ケアマネジメントについては、一人ひとりの心身状態や生活状況を把握し、本人の希望や生活課題等確認しながら個別支援計画を立て支援を図った結果、4名の方がステップアップした。</p> <p>受注作業は、企業から箱折りやノベルティグッズの製作依頼の他、町内会から資料やチラシの印刷、製本作業等の依頼を多く受け、能力向上に繋がる1年となっている。</p>	
事業名	令和5年度事業実績（3月31日現在） （ ）内は昨年度実績	評価・課題・今後に向けて
開所状況	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎的事業 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月1日～令和6年3月31日 ●余暇支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・月1回第3土曜日午前中開催 	<p>基礎的事業は、感染症の影響等受けることなく閉所せず運営することが出来た。昨年度末、空調機器改修工事が行われたが予定通り年度内に終わることが出来、通常通り全館使ったの活動に戻る事が出来ている。</p> <p>余暇支援事業は、毎月第三土曜日の午前中に開催した。段階的に企画内容の幅を広げ実施している。</p>
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ①登録者数 15名(17名) <ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい者 6名(6名) ・精神障がい者 9名(11名) ・男性 7名(6名) ・女性 8名(11名) ・新規利用者 1名(2名) ・就労支援施設移行者 3名(0名) ・一般就労 1名(0名) ②延べ利用者数 2,468名(2,689名) <ul style="list-style-type: none"> 各メンバー目標利用日数合計2,851日(3,131日) メンバー目標利用達成度 86.5%(85.8%) ③1日平均利用者数 10.2名(11.2名) ④ケアマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画作成 1回 ・モニタリング 2回 	<p>3月31日現在の登録者数は15名であった。本人の将来への希望、生活課題等確認しながら個別支援計画の作成と定期的にモニタリングを実施し支援を行った。その結果、職場復帰した方が1名、就労継続支援B型事業所(菓子と手芸関係)へ移行した方が3名いる。</p> <p>新規利用者は1名であった。将来の活動目標を明確にして活動に取り組んでおり、段階的に通所日数が増えてきている。又、創作活動では、得意分野を見つけ楽しんで取り組む姿が見られ、ステップアップに向けた新たな目標設定を行っている。</p> <p>今後も市の登録決定内容やサービス等利用計画に基づき個別支援計画を作成し、日常、社会生活の自立に向けた継続的な支援が必要である。</p> <p>又、就労系施設やグループホーム等の福祉サービスについて理解を深める機会を持ち、将来の生活と活動基盤の検討に繋げていくことが必要である。</p>

事業名	令和5年度事業実績（3月31日現在） （ ）内は昨年度実績	評価・課題・今後に向けて
日常・社会生活能力の向上	①買物実習 12回(10回)	<p>日常生活、社会生活スキルの向上を目指し、施設内外の実習や研修会等に取り組んだ。</p> <p>調理実習では、メンバーの希望を確認し、メニューを決定した。写真やイラスト付きのレシピ、スタッフの見本を確認してもらい調理に取り組むことで少しずつ調理方法を覚えられる方が増えている。買物実習では、調理実習で使う材料を購入した。材料の数量や食材の選び方、セルフレジの会計方法等支援を行った。</p> <p>清掃実習では、定期的に取り組むことによりスキルの向上が見られている。曜日を決め自宅での清掃を促し自室の掃除から始める等清掃する方が増えており、生活力の向上に繋がる結果となった。</p> <p>ボランティア活動は、特別養護老人ホーム杜の風での活動が再開し、車いす清掃に取り組んだ。挨拶や報告等社会的マナーやルールなど身に付けられる機会となっている。</p> <p>課題としては、清掃や調理の機会が実習時のみとなっているメンバーが多いため、継続してご家族の協力を得ながら自宅でも取り組み、生活力の向上が図れるよう支援することが必要である。</p> <p>研修会では、就労系施設の特徴や将来の活動のイメージを持つことを目的に「なないろスタンドフェア」に合わせ市内就労系施設の見学を行った。市内就労系事業所の理解に繋がり、新たな目標を持つメンバーもいた。今後も福祉サービスの理解を深められる機会が必要である。</p>
	②調理実習 12回(10回)	
	③支援センター清掃実習 12回(12回)	
	④市役所清掃実習 12回(12回)	
	⑤杜の風ボランティア 8回(0回)	
	⑥そよかぜボランティア 0回(0回)	
	⑦研修会・相談会 1回(0回)	
	⑧その他 避難訓練 2回(3回)	
創作活動	<ul style="list-style-type: none"> ・木工製品(木工マグネット・クリップ・置物等) ・さをり織り製品(ストール・ポーチ・バック・ストラップ等) ・手芸品(パッチワークヨーヨーの鍋敷き・フリーキャップ・カードケース) ・ビーズ製品(ストラップ・指輪・ネックレス等) ・刺し子製品(花ふきん・コースター等) ・革製品(コースター・印鑑ケース等) 	<p>それぞれの得意分野を活かしながら創作品を製作した。</p> <p>メンバーとアイデアを出し合い、今年度はさをり織りと刺し子を合わせたポーチやさをりのストラップ等新しい商品を製作した。</p> <p>販売活動の機会も増え、自分達で作った創作品を購入してもらうことで自信になるとともに創作意欲に繋がっている。</p> <p>引き続き、楽しみながら創作活動に取り組めるよう努め、新たな創作品をメンバーと共に考え、製品化していくことが必要である。</p>

事業名	令和5年度事業実績（3月31日現在） （ ）内は昨年度実績	評価・課題・今後に向けて
受注作業	①箱折り(有限会社スマッシュ) 6,290箱(8,545箱) ②アップル製品(家庭教師のアップル) 495個(340個) ③単発作業 ●ノベルティグッズ(株式会社NTKセラテック) 300個(600個) ●封入封かん作業(宮城県神社庁) 5,250部(7,451部) ●会報作成(宮城県障害者小規模施設連絡会) 100部(100部) ●デマンド型交通駐車場看板(富谷市社協) 3枚 ●総会資料印刷・製本 富ヶ丘北部町内会(R5年度分) 800部 富ヶ丘北部町内会(R6年度分) 850部 鷹乃杜町内会 1,150部 明石台第五町内会 580部 ●資料印刷・製本(明石台第五町内会) 570部 ●秋まつりチラシ印刷・仕分け(明石台第五町内会) 1,400枚	<p>今年度は、定期的に依頼のある軽作業の他、企業から企業グッズ製作やチラシの封入封かん作業、町内会からは資料の印刷製本作業等幅広く依頼を受け作業に取り組んだ。</p> <p>町内会から依頼を受けた印刷製本作業では、印刷、丁合、ホチキス留め、仕分け等役割分担して取り組み、作業スピードも上がってきている。</p> <p>株式会社NTKセラテックからは、会社のロゴが入った木工マグネットの再注文があり、月毎の製作目標数を立て取り組んだ。又、革のコードクリップの依頼予定があり現在準備を進めている</p> <p>その他、箱折り作業や木工の看板製作など幅広く依頼を受け製作している。</p> <p>今後も、定期的に依頼のある受注作業の開拓を進めるとともにメンバーの能力拡大が図られるよう調整していきながら作業を受け入れていく。</p>
健康	①軽運動 11回(11回) ②プール 3回(0回) ③口腔衛生講話会 1回(0回) ④健康管理	<p>基礎体力の維持向上や運動するきっかけ作りとして軽運動やウォーキング等定期的に行い、健康づくりに取り組んだ。</p> <p>軽運動では、前半は筋トレやストレッチ等の時間を取り入れ、後半は熟年期のメンバーが増えていることから自由時間を設け、体力や嗜好に合わせて運動を行った。継続して取り組んでいることで、体力や筋力の維持向上に繋がる結果となった。</p> <p>今年度から再開したプールでは、参加希望者を募り、幸町温水プールへ移動し運動を行った。4年ぶりのプールでの運動であり参加メンバーは楽しんで泳ぐ姿が見られた。</p> <p>引き続き、体力や筋力の維持向上を図ること、又、年齢や体力に合わせた内容を考えながら取り組んで行くことが必要である。</p> <p>口腔衛生講話会は、歯科衛生士を招き、口腔ケアについてお話しいただいた。ブラッシング方法について教えて頂き、意識して歯磨きする姿が見られている。治療が必要な方もおり、引き続き、定期的に開催し、意識して口腔ケアが出来るよう支援する必要がある。</p>

事業名	令和5年度事業実績（3月31日現在） （ ）内は昨年度実績	評価・課題・今後に向けて
余暇活動	①季節行事 6回(6回)	<p>余暇活動では、季節行事や施設外研修等実施した。</p> <p>今年度から日帰り旅行とグループ外出を再開した。メンバーの希望を取り、行先や内容を決め開催した。4年ぶりの開催にメンバーは待ち遠しく思っていた様子でメンバー同士交流しながら外出企画を楽しんで参加する姿が見られた。</p> <p>各種教室では、ボランティア講師を招いた創作教室や民族楽器を演奏する団体との交流会を実施した。余暇の充実に繋がり、心身のリフレッシュを図れる機会となった。</p> <p>絵画教室については、アート展に向けて作品の製作を行った。絵画や創作アートを自由に製作した。共同作品の等身大人物画や野菜の墨彩画が鑑賞された方から好評であった。</p> <p>レクリエーションや誕生会は、メンバーの要望を取り入れレク用品を使ったゲームや映画鑑賞、誕生月のメンバーをお祝いする等メンバー間交流を深める時間となった。</p> <p>引き続き、楽しみを持ちながら交流や心身のリフレッシュを図れる内容を企画していく。又、講師や市民ボランティアに協力を得るなど行事内容を工夫して実施出来るよう企画していく。</p>
	②日帰り旅行 1回(0回)	
	③グループ外出 3回(0回)	
	④各種教室 2回(3回)	
	⑤絵画 6回(6回)	
	⑥レクリエーション 20回(25回)	
	⑦誕生会 7回(8回)	

事業名	令和5年度事業実績（3月31日現在） （ ）内は昨年度実績	評価・課題・今後に向けて
地域交流	①団体・企業との交流会 ・園芸クラブ交流会 1回(0回) プランター花植え 1回(1回) ・イオンディライト株式会社大掃除&交流会 1回(0回) ・イオン富谷店(クリスマス会装飾)1回(1回) ・福祉健康センター利用者交流会 2回(1回) ②販売活動 ・なないろスタンドフェア 4回(1回) ・ひより台一丁目夏まつり 1回(0回) ・ランチ仙台 1回(0回) ・地域福祉フォーラム 1回(1回) ・代官松まつり 1回(0回) ・県庁販売 2回(0回) ・委託販売(榴岡小学校・宮城ふるさとプラザ) 2回(0回) ・通信販売(県庁・東北電力・バイタルネット・七十七銀行) 4回(6回) 合計16回(8回) 注文を受け納品した創作品 ・木工・手芸品詰合せセット(富谷市社会福祉協議会) ・革の猫キーホルダー(富谷市社会福祉協議会)	団体・企業との交流会では、イオンディライト株式会社さんとの大掃除や福祉健康センター利用者との交流会等実施した。福祉健康センター利用者との交流会では昨年引き続きレクリエーションを開催し、今年度は新たにメンバーと職員が講師となり、革製品製作教室も実施した。参加者へ創作方法を教えることで自信に繋がる機会となった。 販売活動は、イベントが徐々に増えていることで参加する機会も増えている。販売活動の機会が増え、創作品を購入してもらうことでメンバーの創作意欲に繋がっている。 風の心アート展は、市役所や公民館にて絵画や創作アートの展示を行った。鑑賞者からは好評の言葉を頂いている。 引き続き、団体・企業との交流事業を企画、開催していく。販売活動においては、市内外イベントやイオン富谷店での販売・展示会に継続して参加していく。
	③風の心アート展 2回(2回) 宮城県書道コンテスト作品出品 1回(1回) ピュアハーツアート展作品出品 1回(1回)	
余暇支援事業	余暇支援事業(すまいるサロン) 月1回第三土曜日開催。 ・登録者 30名(29名) ・開所日数 12回(11回) ・延べ利用者数 75名(70名) ・1日平均利用者数 6.3名(6.3名)	参加者から内容の希望を聞き取り、レクリエーションを企画して実施した。調理や創作、運動、外出等幅広く企画することで、参加者同士交流を深め余暇の充実に繋がられている。 課題として参加者が固定化されているため、アンケート結果をもとに内容の充実を図れるよう企画していき、楽しむ喜びを得られるサロンを目指していく。